



ゆに通信

第3号 2012年9月18日発行

編集：NPO法人ゆに事務局

ゆにを応援して頂いている皆様

いつもゆにを応援して頂きありがとうございます。理事長の佐藤謙です。

9月に入り、京都は少しずつ秋の気配が感じられてきました。

皆様お待たせしました。ゆに通信第3号ができあがりました。是非ご覧ください。

各事業の活動状況を見ますと、

修学旅行支援事業では、これまで関東地方へのパンフレット発送といった様々な準備をしてきました。そして、6月と先日に初めて実際に修学旅行の支援をさせて頂きました。

また、障がい学生支援事業では、京都市内でのノートテイク派遣を行いながら、大阪の大学からの依頼も受け、試験時の代筆の支援もさせて頂きました。

このように、ゆにの活動が続々と広がっています。

活動が順調に進むのと同時に、新しい学生スタッフ達が入ってきてくれています。

新しい出会いに感謝し、スタッフのみんなとこれからも力を合わせて頑張っていきたいと思います。今後とも応援どうぞよろしくお願いします。

平成24年9月18日

NPO法人ゆに

理事長 佐藤 謙



←清水寺にて修学旅行支援の
モニタリングツアーを行う
(3ページに関連記事)

ゆに定期総会のご案内

平成24年度ゆに定期総会を10月6日(土)に開催致します。

【日時】 10月6日(土)14:00~16:30

【会場】 京都アスニー5階第7研修室

総会はゆにの日頃の活動を会員の皆様に、報告する大切な会です。お忙しいとは存じますが、是非とも来ていただきたいです。

会場までのアクセスですが、同封の総会の案内をご覧ください。

どうぞよろしくお願い致します。

総会の役割を再確認

「ゆに」をご利用いただいている皆様、また、「ゆに」を応援していただいているみなさん、日頃から大変お世話になっております。

10月6日には平成24年度の総会が行われます。

ヘルパー事業を中心に、各種の障害学生支援事業に本格的に取り組みをスタートさせて初めての総会です。

私たち理事やスタッフ、そしてボランティア、なにより欠かすことができない障害の当事者からの活動報告がございます。

私たちからの「発信」を、参加される皆様に「受信」していただく大切な機会と考えております。ついてはより多くのご参加をお待ちしております。

さて、「ゆに」はこれまでの総会でも、より多くの方々に「ゆに」についてのご理解をいただくとともに、「ゆに」と一緒に社会を変えていくために、どんなことができるのか考えていただいています。一人ひとりからの「発信」をつづけてもらっています。

これからは、私たち理事や事務局スタッフが、皆様一人一人からの「受信」をより意識していくことが必要になっていると考えています。

「受信」と「発信」が相互に行われる（この『ゆに“通信”』がその場となる必要がありますね）「ゆに」になるよう工夫をしてみたいので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

NPO 法人ゆに
理事 桐澤夏樹



←昨年度の総会后、記念撮影を行う

修学旅行支援事業

修学旅行支援担当の前田です。この夏、修学旅行支援は2件の依頼を受け支援を行いました。また、6月と8月に学生スタッフが車いす体験をしながら観光地のバリアフリー度を調査する「モニタリングツアー」を行いました。それではこの夏の修学旅行支援事業の様子を振り返っていききたいと思います。

◎実際の支援が始まる～関東の中学から2件の依頼～

ゆにでは一人でも多くの方にこの修学旅行支援を知ってもらうため、今春から全国の中学校にパンフレットを発送する活動を行ってきましたが、その効果もあってこの夏、関東の中学校から2件の依頼がありました。

1件目の依頼は横浜市の中学校から「ケガで松葉杖を使用している学生のサポートをお願いしたい」との内容でした。この依頼は実際の支援日から1週間以内に決定したこともあり短期間で準備を行いました。当日は前田と学生スタッフ1名が同行しましたが、利用者の学生の方のケガの状況がある程度回復していたこともあり、比較的余裕を持って支援を行うことができました。

2件目は東京都の中学校からのご依頼。脳の後遺症により松葉杖で生活されている学生の方への支援を行いました。夏休み前から学校の先生と打ち合わせを行い、当日観光するコースの事前調査を行うなど、充実した修学旅行になるよう時間をかけ準備を行いました。実際の支援は9月8日、9日の2日間行い、学生スタッフ2名と共に銀閣寺、清水寺、三十三間堂などをめぐりました。当日は車いすでの市バスへの乗車や坂道での車いす補助など気を遣う場面もありましたが、無事に支援を終えることができました。

これら2件の依頼を実際に行ってみて大切だと感じたのは、やはり「本人とのコミュニケーション」です。利用者の学生の方にとって知らない土地で初対面のゆにスタッフと観光地に行くのはそれなりに緊張するものです。そのため、ゆにのスタッフは「京都の優しいお兄さん、お姉さん」としていかに安心感や信頼感を抱いてもらえるかが重要と感じました。自己紹介や観光情報の提供などをきっかけにうまく本人とコミュニケーションをとっていくことで修学旅行支援をより円滑に楽しく行うことができると、今回改めて思いました。

◎モニタリングツアーは修学旅行生に人気のスポットへ

昨年の「モニタリングツアー」は四条河原町、京都駅周辺など比較的京都に住んでいる人が行きやすいような観光スポットを調査していました。今年はもっと修学旅行生に人気のある観光スポットを調査することでより実際の支援に

活用していこうと考えました。そこで、6月には嵐山、8月には最も多くの修学旅行生が訪れる清水寺に行きました。

参加者は嵐山は6名、清水寺は5名でしたが、ゆにの重度訪問介護従業者養成研修を受けてくれた学生スタッフも多く参加してくれていたため、昨年と比べ実際の支援への意識の高いツアーになりました。

特徴的なところとしては、嵐山への行き帰りの際に車いすのまま嵐電に乗車してみました。また、清水寺では五条坂や清水坂といった急勾配の上り坂に挑戦しました。普段は体験することのないスロープでの電車の乗り降りや、急な坂で車いすを押しってもらう緊張感は、実際の支援を行う上で非常に貴重かつ有意義な経験になったと思います。

嵐電に車いすのまま乗り降りする→



←多目的トイレの入り口の幅を計測

現地の観光情報を集めるのもツアーの醍醐味
(ゆばソフトクリームを食べる) →



←最後には必ずフィードバックを行う

いよいよ秋になり紅葉の季節がやってきます。京都を多くの観光客や修学旅行生が訪れる時期がやってきますが、なるべく早く次の依頼を受け支援ができるよう頑張ってお参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

障がい学生支援事業

障害学生支援事業を担当させていただいております中村と奥森です。

以下に2012年前半期の活動について書かせていただきました。ご一読いただければ幸いです。

ノートテイク講座&派遣

・京都嵯峨芸術大学さんへノートテイカーの派遣を始めました。

主張ノートテイク講座のご依頼をいただいたのをきっかけに、ノートテイカー派遣のご依頼もいただき、前期の授業で週に一度、テイカー派遣を行いました。ゆにで初めての派遣になりました。

「障害のある学生さんも、同じように学ぶ機会を！」との思いで始めた法人の活動でもあったので、大きな一歩だと感じています。嵯峨芸の学生さんともお話しする機会があり、昼休みに「ランチ手話講座」を一緒に開催したり、楽しく交流もできました。後期も学生さんのニーズがあれば、ゆにの学生スタッフがテイカーとして活躍します！

・出張ノートテイク講座のご依頼が少しずつ増えてきました。

京都嵯峨芸術大学さん以降も、ゆにの存在を知っていただいた大学さんからご依頼をいただき始めました。比較的小規模の大学さんでの、ニーズの高さを感じています。大学の垣根を越えて、ゆにが障がい学生支援の輪をつくっていただければと思っています。

定期試験時の代筆サポート

○大学に通われている障がいのある2名の学生の方に、定期試験における代筆の支援を行わせていただきました。当法人から学生スタッフ4名が7コマの試験にサポーターとして入らせていただき、自筆が困難な学生の方にPCによる代筆(学生の方が言われたことをそのまま文字起こす)の支援をさせていただきました。大学の担当者の方からも「学生も『とてもやりやすかった』ようで大変助かった」というお言葉をいただきました。また、10月には「情報保障講座」のゲストスピーカーとしてお話をさせていただける機会もいただきました。これも、自分たちの試験中にもかかわらず精一杯支援に入ってくれた学生スタッフの頑張りによるものだと感じております。

ヘルパー派遣事業について

- ・現在、5名の利用者さんに支援を提供させていただいています。

ただ今、学生は夏季休暇真っ最中！大学での授業はお休みですが、研究のための調査や余暇でのガイドヘルプの支援に入らせていただいています。

- ・「重度訪問介護従業者養成研修」を修了した学生さんが、ゆにでヘルパーを始めています。

昨年の10月から始めた研修の受講生が、徐々にメインのヘルパーとして活躍するようになりました。本当に心強いです！「資格を取ったので、これから始めたい」という声もお聞きしています。まだまだ小規模事業所ではありますが、支援中は利用者さんもヘルパーも気持ちよく過ごせるような時間になるように、同行研修やフォローを丁寧にしていきたいと思います。

- ・ヘルパーによるたん吸引等の実施にむけて

平成24年度から段階的に「介護福祉士等の業務拡大」制度改正することになりました。決められた研修時間を修了・登録すると、ヘルパーも特定の方に「医療的ケア」としてのたん吸引・経管栄養の業務が合法的に認められます。ゆにでの23年度に京都府で行われた研修を受講し、8名が修了認定を得ることが出来ました。受講が出来なかったメンバーも含め、これから「医療的ケア」もできるヘルパーの育成を事業所として進めて行きたいと思います。重度の障がいがあっても地域で生活し、社会に参加していくサポートをしていきます。

重度訪問介護従業者養成研修

今年度前期の位置づけとしまして、6月下旬と8月上旬に重度訪問介護従業者養成研修を京都アスニーにておこないました。6月は28名、8月は26名と多くの方に受講していただくことができ、また両研修ともお天気にも恵まれ無事に研修を終えることができました。昨年度から継続的に開催させていただいていることもあり、準備や当日の運営など、少しずつではありますがスムーズに開催できるようになってきているように感じております。何よりいつも講師を快く引き受けてくださる先生方、当日も含め研修の開催にご尽力いただいた運営スタッフの皆様、多くの方々のご協力の下、開催が実現できていると思っております。この場をお借りして心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。後期は12月と2月に開催を予定しております。今後の課題としては、少しでも多くの学生や社会人の方に、この研修の存在を知っていただけるよう広く広報の場を考えていければと思っております。



← 第5回重度訪問介護
従業者養成研修の様子
(26名の参加者が2日
間京都アスニーで講義
を受けた)

→
「コミュニケーション
の技術に関する講義」の
様子



ゆにスタッフ紹介 ～第3回・S.Yさん～

私がゆにと関わりを持つことになったきっかけは、大学の障がいを持つ学生を支援する団体を通して理事長の佐藤謙さんと出会い、ヘルパーとして関わらせてもらうようになったことです。

ゆには私にとって「ほっ」と安心できる場所です。活動の中で反省したり、勉強が必要だと感じることもあります。ゆにの皆さんが温かく、時には厳しく向き合ってくださいることに感謝しています。

私がヘルパーを始めた頃、ゆにはまだ設立されていませんでした。色々な人と関わりながら、一步一步活動を進めておられるゆにから勇気をもらっています。

これからもよろしくお願いします。

～NPO法人ゆに 会員募集中！～

当法人は正会員と賛助会員の構成で成り立っています。正会員は年一回の総会での議決権があり、賛助会員にはありません。どちらの会員様も入会金は0円で、会費が年間3,000円です。

活動にご賛同いただける皆様には、ぜひとも会員としてご入会いただき、私たちの活動に参加していただきたく思います。今後とも、当法人をよろしく願いいたします。

—入会をご希望される方へ—

入会申込書等をお送りいたします。下記の「問い合わせ先」にご連絡ください。

～会員更新のお願い～

当法人の年度が平成24年9月1日より新しくなりました。平成24年度（平成24年9月1日～平成25年8月31日）になりましたので、正会員・賛助会員の皆様で、更新手続きがお済でない方は、お手数ですがよろしくお願い申し上げます。会員費は、年間3,000円です。振込手数料をご負担いただくことになり、申し訳ございません。

〈ゆうちょ銀行からの振込〉

名義：特定非営利活動法人ゆに
口座記号番号：00990-2-328009

〈ゆうちょ以外の銀行からの振込〉

名義：特定非営利活動法人ゆに
店名：〇九九店 預金種目：当座
口座記号：0328009



NPO法人 ゆに <問い合わせ先>

〒603-8346

京都市北区等持院西町60番地10（京福電鉄「等持院」駅徒歩5分）

TEL:075-468-1633 FAX:075-468-1666

E-mail: info@unikyoto.com URL: http://www.unikyoto.com